

女性開業者の割合は過去最高

～「2022年度新規開業実態調査」アンケート結果の概要～

日本政策金融公庫総合研究所は、新規開業企業の実態を把握するために、1991年度から毎年「新規開業実態調査」を実施しています。2022年度調査の結果について、時系列のデータを用いて開業者の属性や開業費用などの変化をみるとともに、開業者の特徴について分析しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

<主な調査結果>

1 女性の割合は調査開始以来最高(本文 3 ページ)

開業者に占める女性の割合は、24.5%と1991年度の調査開始以降で最高を更新した(図-2)。

2 開業費用は少額化の傾向(本文 9 ページ)

開業費用が「250万円未満」の割合は21.7%、「250万～500万円未満」は21.4%となった(図-13)。「250万円未満」の割合は、比較可能な2000年度以降で最も高い。

3 開業に「満足」している割合は7割以上(本文 14 ページ)

開業の総合的な満足度が「かなり満足」であった割合は29.7%、「やや満足」は44.1%と、73.8%が開業に「満足」している(図-25)。項目別では仕事のやりがい(自分の能力の発揮)で「満足」の割合が80.5%と特に高い。

4 7割以上の開業者が新型コロナウイルス感染症によるマイナスの影響が「ある」と回答(本文 15 ページ)

新型コロナウイルス感染症によるマイナスの影響が「ある」割合は、調査時点で75.7%となった(図-27)。「飲食店・宿泊業」(96.4%)と「運輸業」(95.1%)で9割超と特に高い(図-28)。

<調査の要領>・調査時点:2022年9月

・調査対象:融資時点で開業後1年以内の企業4,817社

・調査方法:調査票の送付・回収ともに郵送、アンケートは無記名

・回答数:1,122社(回収率23.3%)

*本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:青木、桑本)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー